

今夜7時より
西成市民館3階
(西成區ウラ・火出し公園前)
毎週全曜日

みんなでつくり
 みんなの**会館**

テーマ

ドヤについて考える

夜間学校

釜ヶ崎夜間学校

西成區救急病院2-5-23
 解放会館2階

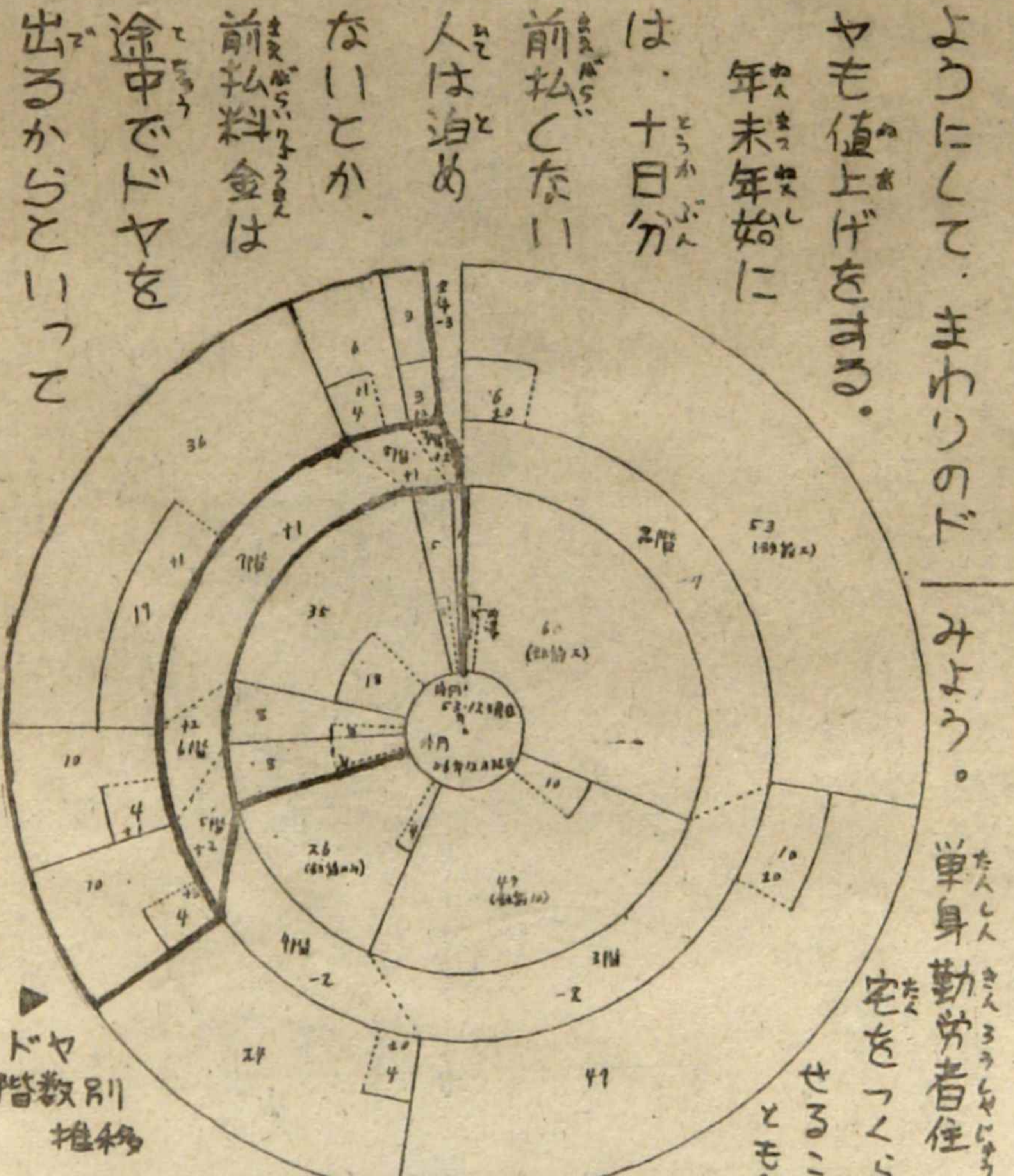
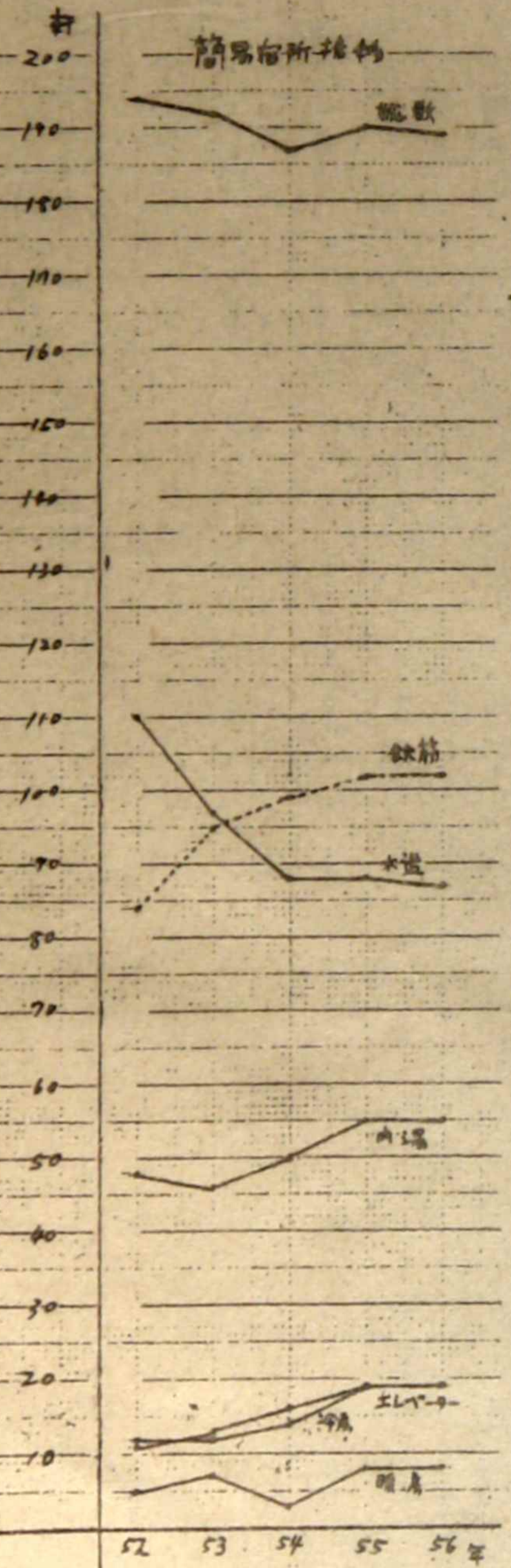
釜日労・争議団 共催

高層・高級・高料金化の時代

ドヤの住人としては...

先週は、夜間学校は会議室で、釜ヶ崎の越冬実が講堂で、それぞれ越冬の話。夜間学校のビラまき担当者には、常連さんを含めて三四人はあがったはず。と言っていたが、皆、まちがえたのかどうかわからぬが、講堂の方へ入ったまま、結極、臨時休校という事柄で、今回は気をとりな

して、ドヤについて考えることにした。左下のグラフをみると、一九七九年に、木造のドヤより、鉄筋のドヤの方が多くなって、いることがわかる。円グラフからは、一、二階建てのドヤが、五、九階建てへと建替が進んでいること



新日の本も建替中で、七階建になるらしい。新築のドヤは、値段もずいぶんと高くなって、それに引っぱられる。ようにして、まわりのドヤも値上げをする。年末年始には、十日分前払くない人は泊めないとか、前払金は途中でドヤを出るからといって、も返さない、など、ドヤ主・管理人の高姿勢ぶりを目につく。生きるうえで比重の高い住について話合ってみよう。単身勤労者住宅をつくらせること